

ご使用前に「取扱説明書」の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

本書では、5.1チャンネルシステムを設置して、本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順を案内します。詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。

本書と「取扱説明書」のPDF版を以下のウェブサイトからダウンロードできます。

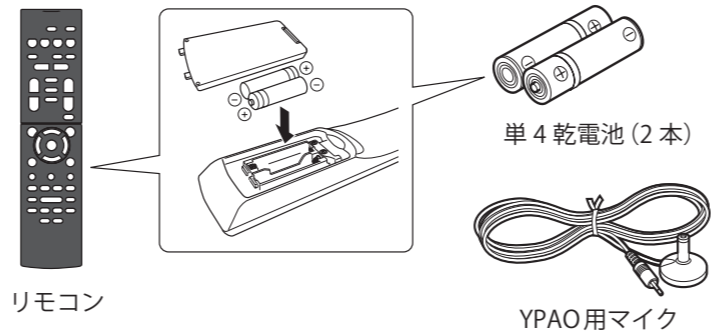
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>



**AV SETUP GUIDE**

「AV SETUP GUIDE」はAVレシーバーとテレビ、プレーヤーなどの再生機器との接続、スピーカーとの接続をわかりやすくガイドするアプリです。詳しくは、App StoreまたはGoogle Playで「AV SETUP GUIDE」を検索してください。

# 1 本書で使う付属品



リモコン

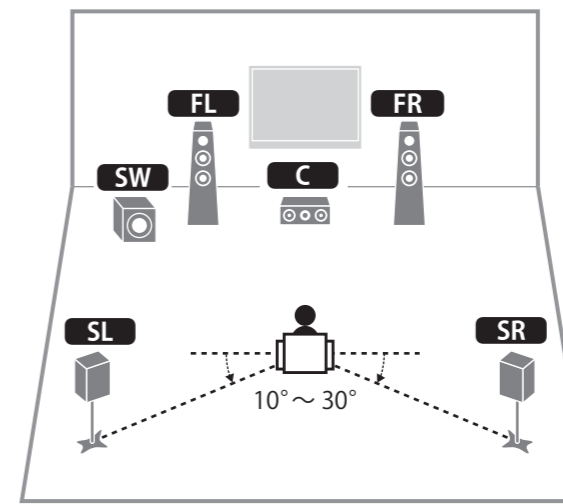
単4乾電池(2本)

YPAO用マイク

本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途ご用意ください。

- スピーカーケーブル(5本)
- モノラルピンケーブル(1本)
- HDMIケーブル(3本)

# 2 スピーカーを部屋に配置する



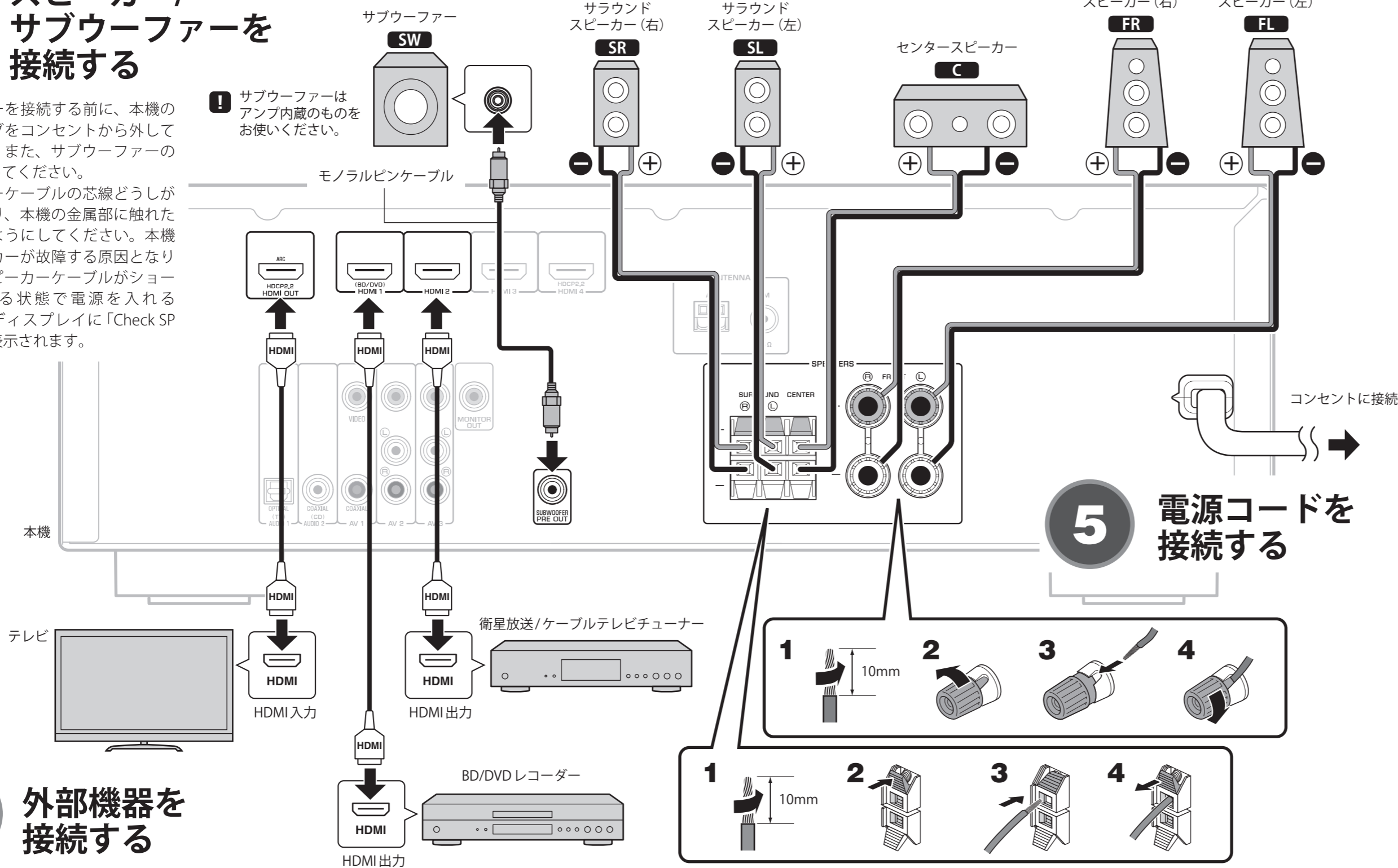
図を参考に部屋にスピーカーを配置してください。

- FL フロントスピーカー(左)
- FR フロントスピーカー(右)
- C センタースピーカー
- SL サラウンドスピーカー(左)
- SR サラウンドスピーカー(右)
- SW サブウーファー

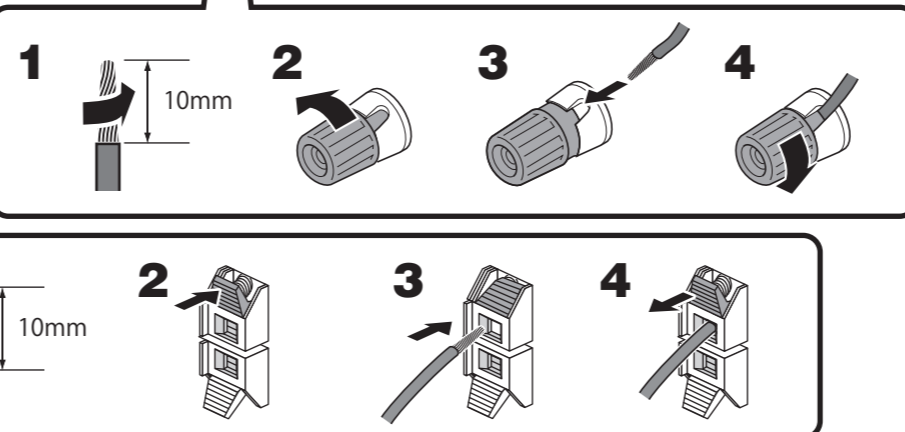
# 3 スピーカー/サブウーファーを接続する

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、本機の金属部に触れたりしないようにしてください。本機やスピーカーが故障の原因となります。スピーカーケーブルがショートしている状態で電源を入れると、前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示されます。

サブウーファーはアンプ内蔵のものをお使いください。



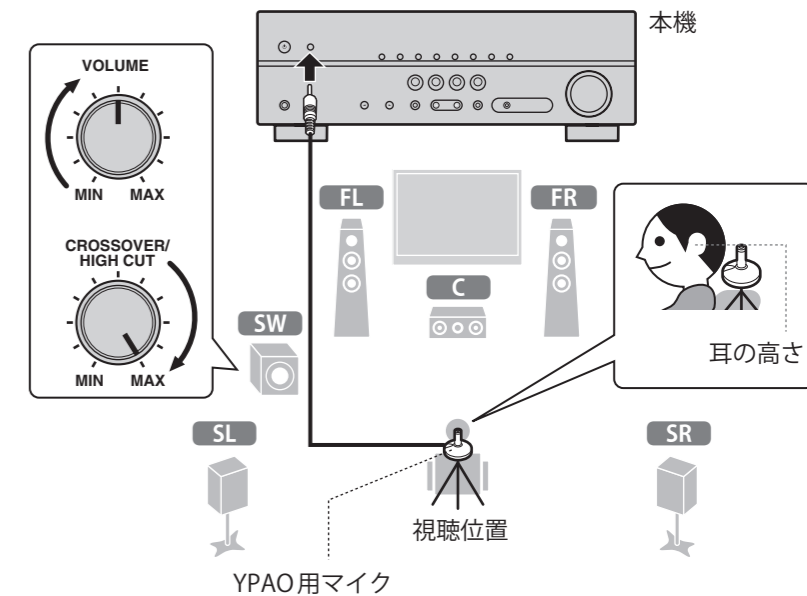
# 5 電源コードを接続する



# 4 外部機器を接続する

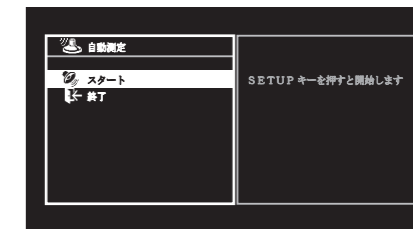
HDCP 2.2 対応機器の接続については「取扱説明書」をご覧ください。

# 6 自動調整(YPAO)の準備をする



付属のYPAO用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します(YPAO: Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

- 1 (レシーバー電源)キーで本機の電源を入れる。
- 2 テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を本機(HDMI OUT端子)からの映像に切り替える。
- 3 サブウーファーの電源を入れ、音量を半分に調節する。クロスオーバー周波数を調節できる場合は最大にする。
- 4 付属のYPAO用マイクを視聴位置に置き、前面のYPAO MIC端子に接続する。  
テレビに次の画面が表示されます。



YPAO用マイクを視聴位置(耳の高さ)に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。

# 7 スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)

YPAO 使用時は次のことにご注意ください。  
 ・テレビやスピーカーの接続が終わってから YPAO を実行してください。  
 ・測定中は大きな音が出力されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分にご配慮ください。  
 ・測定中は音量を調節できません。

- ・測定中は部屋を静かに保ってください。
- ・測定中は部屋の後方の隅にとどまり、スピーカーと YPAO 用マイクの間を遮らないようにしてください。
- ・ヘッドホンは接続しないでください。

## 1 SETUP キーを押す。

10 秒後に測定が始まります。所要時間は約 3 分です。測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



- ・エラーメッセージ (E-1 など) や警告メッセージ (W-2 など) が表示された場合は「取扱説明書」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。
- ・警告メッセージ「W-1: SP 接続逆相」が表示された場合は、右記の『「W-1: SP 接続逆相」が表示された場合』をご覧ください。

## 2 測定結果を確認し、ENTER キーを押す。

## 3 カーソルキー (</>) で「保存」を選び、ENTER キーを押す。



## 4 YPAO 用マイクを本機から取り外す。



YPAO 用マイクは、高温になる場所や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

これでスピーカー設定は完了です。

## 「W-1:SP 接続逆相」が表示された場合

以下の手順でスピーカーの接続を確認してください。



警告メッセージ

① 前面ディスプレイのスピーカー表示で点滅しているスピーカーを確認する。



警告メッセージの対象スピーカーが点滅

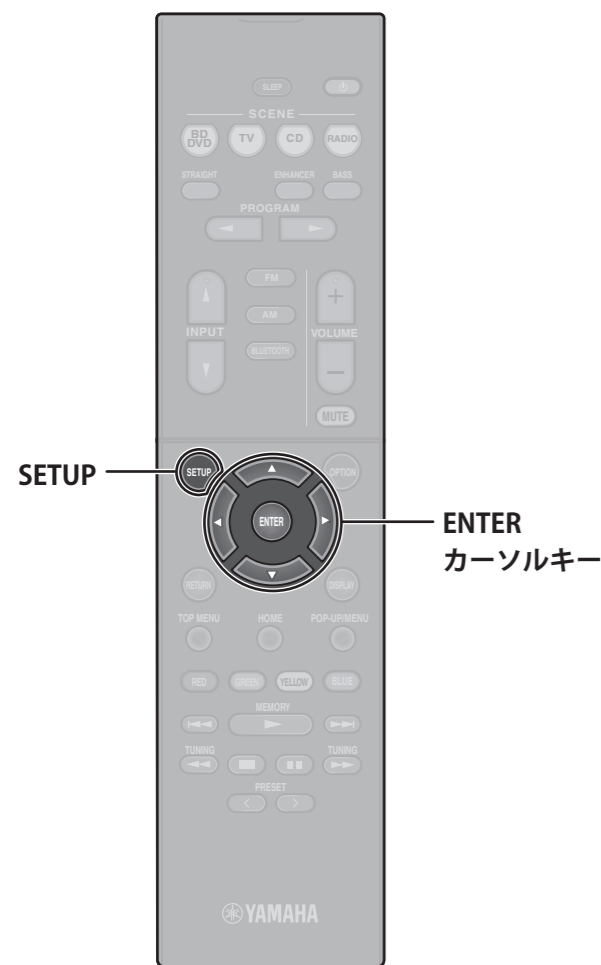
② 該当スピーカーのケーブル接続 (+と-) を確認する。

## 間違って接続されている場合:

本機の電源を切ってからスピーカーケーブルを接続し直して、もう一度 YPAO を実行してください。

## 正しく接続されている場合:

スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていてもこのメッセージが表示されることがあります。手順 2 に進んで設定を保存してください。(お客様への確認を促すメッセージであり、そのままお使いいただいても本機の再生に影響はありません。)



# 基本的な操作

## 入力と設定をワンタッチで切り替える

各 SCENE キーの登録内容 (初期値) は以下のとおりです。

SCENE キー	BD/DVD	TV	CD	RADIO
入力	HDMI 1	AUDIO 1	AUDIO 2	TUNER
音場プログラム	MOVIE (Sci-Fi)	STRAIGHT	STRAIGHT	STEREO (5ch Stereo)
ミュージックエンハンサー	オフ	オン	オフ	オン
シーン連動	オン	オン	オフ	オフ

## 好みのサウンドを選ぶ

**STRAIGHT**: ストレートデコードに切り替えます。入力ソースに含まれている各チャンネルの音声がそのまま出力されます。

**ENHANCER**: ミュージックエンハンサーを有効にします。BLUETOOTH 機器などの圧縮音源に音の深みと広がりを加えます。

**BASS**: エクストラベースを有効にします。

**PROGRAM** (</>): 映画、音楽に適した音場プログラムや、ステレオ再生を選びます。

本機の電源を入/切(スタンバイ)する

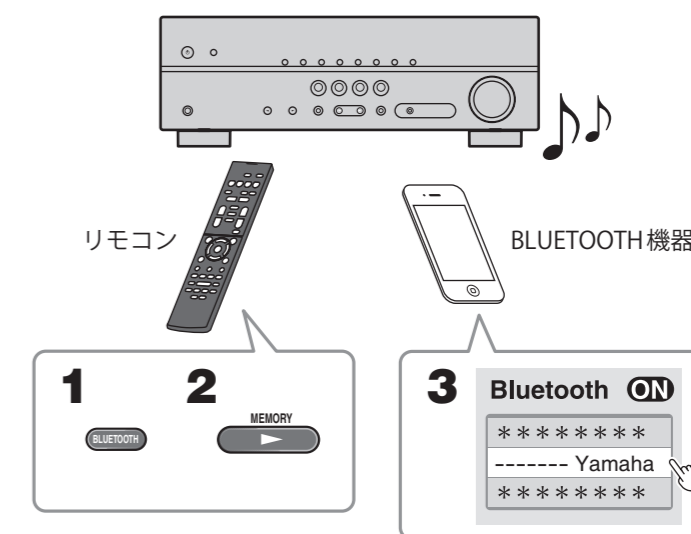
音量を調節する

消音する

入力を選ぶ

前面ディスプレイに入力名が表示されます。

# BLUETOOTH 機器の曲を聴く



- 1 BLUETOOTH キーを押し、入力を「Bluetooth」に切り替える。
- 2 MEMORY キーを 3 秒以上押す。
- 3 お使いの機器の BLUETOOTH 機能をオンにし、使用可能なデバイスのリストから本機のモデル名を選ぶ。  
ペアリングが完了し BLUETOOTH 機器と接続すると、前面ディスプレイに「Connected」と表示されます。また接続中は BLUETOOTH インジケーターが点灯します。
- 4 BLUETOOTH 機器を操作して曲を再生する。



- ・一度接続した Bluetooth 機器であれば、次回以降は手順 2 の操作は不要です。
- ・BLUETOOTH 機能の詳細については「取扱説明書」をご覧ください。

# 8 BD/DVDを再生する

実際に BD/DVD を再生してみます。サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声 (5.1ch 以上) が収録されているディスクの再生をおすすめします。

## 1 BD/DVD レコーダーの電源を入れる。

## 2 INPUT (Δ/▽) キーを繰り返し押し、本機の入力を「HDMI1」に切り替える。

接続した機器によっては、「BD Player」などのように名称が表示されます。



機器の名称

## 3 BD/DVD レコーダーで BD/DVD を再生する。

## 4 STRAIGHT キーを繰り返し押し「STRAIGHT」を選ぶ。



「STRAIGHT」(ストレートデコード) を選ぶと、ディスクに収録されている各チャンネルの音声が各スピーカーからそのまま出力されます。本機の音場効果はかかりません。

## 5 VOLUME キーで音量を調節する。



これで 5.1 チャンネルシステムを設置して、本機で BD/DVD のサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。



フロントスピーカーからしか音が出ない場合や、音の出ないスピーカーがある場合は、「取扱説明書」の「故障かな? と思ったら?」をご覧ください。

